

## 安全データシート

### 1 化学品及び会社情報

<製品名>	: アビオンーC
<会社名>	: 株式会社アビオンコーポレーション
<住所>	: 東京都世田谷区野毛3-6-11
<担当部門>	: 管理部
<電話番号>	: 03-6432-3401
<FAX番号>	: 03-6432-3403
<緊急連絡先>	: 福岡工場（電話番号：0943-25-1500）

### 2 危険有害性の要約



<GHS分類>	: 急性毒性（経口）	区分外
	急性毒性（経皮）	区分外
	皮膚腐食性／刺激性	区分外
	皮膚感作性	区分1B
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分2B
	特定標的臓器／全身毒性（単回曝露）	区分3（気道刺激性）
	水生環境急性有害性	区分外
	※記載がないものは「分類対象外」又は「分類できない」	
<注意書き>		
危険性	: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 眼刺激性。 呼吸器への刺激のおそれ。	

安全対策	: 使用前に取扱説明書を入手し、すべての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。 指定された個人用保護具を使用すること。
応急処置	: 曝露または曝露の懸念がある場合、医師の診断、手当てをうけること。
廃棄	: 内容物、容器を都道府県知事／市町村の規則に従って、適切に廃棄すること。

---

### 3 組成及び成分情報

<単一製品・混合物の区別>	: 混合物
<当該製品の一般名称>	: 植物成長調整剤
<成分、及び含有量>	

#### [有効成分]

化学名又は一般名	: パラフィン
分子式 (分子量)	: $C_nH_{2n+2}$
官報公示整理番号	: (8)-414
CAS 番号	: 8002-74-2
濃度又は濃度範囲	: 36%

#### [その他の成分]

化学名又は一般名	: 水および乳化剤等
分子式 (分子量)	: —
官報公示整理番号	: —
CAS 番号	: —
濃度又は濃度範囲	: 64%

---

### 4 応急措置

<吸入した場合>	: 速やかに空気の新鮮な場所に移し、安静を保ち、呼吸を楽にさせる。身体に異常を感じた場合は、直ちに医師の手当てを受ける。
<皮膚に付着した場合>	: 直ちに汚染された衣服や靴などを脱がせ、付着部または接着部または接触部を大量の水と石鹼で皮膚を洗浄する。皮膚に異常がある場合は医師の手当てを受ける。

- <目に入った場合> : 直ちに多量の水で十分に洗眼し、眼科医の手当てを受ける。
- <飲み込んだ場合> : 吐き出させ、直ちに医師の手当てを受ける。
- 

## 5 火災時の措置

- <適切な消火剤> : 粉末消火剤、炭酸ガス、泡等。
- <消火方法> : 呼吸装置を着用し、風上から行う。
- <使ってはならない消火剤> : 棒状放水（本品があふれ出し、火災を拡大するおそれがある。）
- <特有の危険有害性> : 火災によって刺激性又は毒性のガスを発生させるおそれがある。
- 

## 6 漏出時の措置

- <人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 >
- : 漏洩エリア内に立ち入る時は保護具を着用する。  
密閉された場所に立ち入る時は、事前に換気を行う
- <環境に対する注意事項> : 河川、下水道、土壌に排出されないように注意する。
- <封じ込め及び浄化方法及び機材等>
- : 回収後の少量の残留分は土砂又はおがくず等に吸収させる。漏出物を直接河川や下水に流してはならない。
- 

## 7 取扱い及び保管上の注意

- <取扱い上の注意事項> : ラベルをよく読み、記載以外に使用しない。  
幼児の手の届くところには置かない。  
容器を転倒させる、落下させる、衝撃を加えるなどの取り扱いをしてはならない。  
眼、皮膚、衣服に付けないこと。  
取扱い後はよく手を洗うこと。
- <保管上の注意事項> : 直射日光を避け、なるべく冷涼な場所に密栓して保管する。凍結すると物理性の劣化により使用できなくなるので、氷点下の所には保管しない。
- <混合接触させてはならない化学物質>
- : 強酸化剤
-

---

## 8 ばく露防止及び保護措置

### <ばく露防止>

許容濃度（曝露限界値、生物学的曝露指標）

: 設定されていない。

### <保護措置>

#### 保護具

- 呼吸器の保護具 : 適切な保護マスクを着用すること。  
手の保護具 : 適切な不浸透性手袋を着用すること。  
眼の保護具 : 適切なゴーグル型保護メガネを着用すること。  
皮膚及び身体の保護具 : 適切な不浸透性作業衣を着用すること。

---

## 9 物理的及び化学的性質

- 外観等 : 白色粘稠乳濁液  
pH : 6.5（100倍希釈液）

---

## 10 安定性及び反応性

- <安定性> : 通常の条件下では安定。  
<反応性> : 通常の条件下では安定。  
<混触危険物質> : 強酸化剤。  
<危険有害な分解生成物> : 一酸化炭素、二酸化炭素。

---

## 11 有害性情報

- <急性毒性> : ラット経口 LD<sub>50</sub> >5000mg/kg に基づき、区分外とした。  
ラット経皮 LD<sub>50</sub> >2000mg/kg に基づき、区分外とした。  
<刺激性> : 皮膚 ; 刺激性が見られなかったことから区分外とした。  
眼 ; 軽度の刺激性が見られたことから区分2Bとした。  
<皮膚感作性> : 軽度の皮膚感作性が見られたことから区分1Bとした。  
<特定標的臓器/全身毒性> : (単回曝露)  
区分3（気道刺激性）に分類されるパラフィンを20%以上含むことから区分3（気道刺激性）とした。
-

---

## 12 環境影響情報

<水棲生物毒性> : ニジマス LC<sub>50</sub> (96 時間) >100mg/L  
ミジンコ EC<sub>50</sub> (48 時間) >100mg/L  
藻類 EC<sub>50</sub> (0-72 時間) >100mg/L  
よって区分外とした。

---

## 13 廃棄上の注意

<安全で環境上望ましい廃棄の方法>

: 使用後に残った農薬及び使用済み容器に付着した農薬  
河川、用水路、下水等の水系に廃棄しない。空容器等は  
圃場に放置せず、関係法令を厳守し、廃棄物処理業者に  
処理を委託する等により適切に行う。

---

## 14 輸送上の注意

<輸送に関する国際規制によるコード及び分類>

: 国連分類 該当しない。

包装、容器が破損しないよう、水漏れや乱暴な取扱いは避ける。

---

## 15 適用法令

<農薬取締法> : 登録番号 第 13627 号  
<労働安全衛生法> : パラフィン 政令第 171 号  
<消防法> : パラフィン 指定可燃物  
<水質汚濁防止法> : パラフィン 油分排出規制  
<海洋汚染防止法> : パラフィン 油分排出規制  
<下水道法> : パラフィン 鉱油類排出規制

---

## 16 その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常取り扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

記載内容は提供情報であって、保証するものではありません。

---